

リライトの条件		
I	主人公にした人物の心情を書く。 ↓ 主人公は「 姉 」にする。	I
II	主人公にした人物の視点から出来事を書く。	II
III	表現の仕方をまねる。	III

● リライトする場面とその理由

リライト作品チェック欄Ⅱ自己評価して記入しよう  
◎とてもよくできた ○できた △あまりできなかった

P 78 L 11 ~ L 18	リライトする場面	選んだ理由
	父親が速達で盆に帰るといふことと、盆土産にえびフライを買ってくることを伝えてきて、土産のえびフライが気になってしかたがない場面	えびフライが気になって仕方がない主人公が姉に尋ねると、「どっちらもんって……えびのフライだえな。えんびじゃねくて、えびフライ。」と姉は弟の発音を注意することでごまかしたりしていたので、姉の気持ちを想像するとおもしろそうだったから。

● リライト作品と解説



リライト作品	「 姉 」を主人公にして	解説
もちろん父親が帰ってくれるのはうれしかったが、正直いって土産が少し心もとなかったフライだから油で揚げるのだろうが、家ではめったに揚げ物はしない。油っこい料理は祖母が食べないからだ。せいぜい油をひいて野菜を炒めるくらいだ。父親が、土産に持って帰ってくれたとして、ちゃんと料理することができるとのだろうか。「あんね、えんびフライってなんだえ。どっちらもんな。」と弟が聞いてきた。まあ、この弟は何でも聞きたがる。えびフライってんだからえびのフライに決まってるだろうが。それにしても、またえんびだ。弟は何度言っても、「えび」を「えんび」と発音する。こんな風だと友達にからかわれたりするのじゃないだろうか。「えんびじゃねくて、えびフライ。」きちんと教えておかねばな。	☆最初の二文はそのまま書き換えずに使った。「父親が帰って来る」ではなく「帰ってくれ」と書かれているところや、率直に「うれしかった」と表現されるのはここだけであるので大切にしたいから。 ▽姉がえびフライの調理の仕方を心配しているところ↓「普段、おかずの支度はすべて姉がしているが」というところと「油とソースを買ってあげ」というところから、普段揚げ物はあまりしていないと考えた。お年寄りがいることも、揚げ物をあまりしない理由だと思ふ。▽えびフライがどんなものかと尋ねられて、姉がごまかしたのは、弟の手前知らないとは言えなかったためと、実際に弟のなまりが直らないのを心配しているためかと想像したところ。母親代わりで心配しているのだろう。	